

安全データシート

1 [化学物質及び会社情報]

会社名 : ハルツォク・ジャパン株式会社
住所 : 〒170-0003
東京都豊島区駒込2-3-7

担当部門 : メタログラフィ営業部
電話番号 : 03-5907-1771
FAX番号 : 03-5907-1770
作成日 : 2005年4月 1日
改訂日 : 2020年5月 8日

製品名

アルミナスラリー KAシリーズ

2 [危険有害性の要約]

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

区分外

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1A

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分1(呼吸器系)

環境に対する有害性

区分外

GHSラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険

重篤な薬傷・目の損傷

重篤な目の損傷

呼吸器系の障害

長期又は反復曝露による臓器の障害(肺・吸入)

注意書き

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
この製品を使用する際には、飲食または喫煙をしない事。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

[応急処置]

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

[保管]

容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い涼しいところで保管すること。

[廃棄]

内容物/容器を適切な焼却炉で焼却するか、都道府県知事の許可を受けた
専門の処理業者に委託処理する。

上記記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3 [成分及び成分情報]					
単一製品・混合物の区別		: 混合物(ダイヤモンドを混入した水性懸濁液)			
薬品名	化学式	含有量(%)	CAS No.	危険性の分類	
純水	H ₂ O	80%未満	7732-18-5	なし	
官報公示整理番号:					
酸化アルミニウム(アルミナ)	Al ₂ O ₃	10-30%	1344-28-1	なし	
官報公示整理番号:					
ヘキサメタリン酸ナトリウム	(NaPO ₃) ₆	1%未満	10124-56-8	なし	
官報公示整理番号:		既存			
硝酸	HNO ₃	1%未満	7697-37-2	なし(10%以下適用外)	
官報公示整理番号:		既存			

4 [応急処置]	
皮膚に付着した場合	: 直ちに多量の水にて洗浄する。放置すると、軽度の肌荒れを生じる。失神などが見られる場合は、この指示書を持参して医師の診断を受ける。汚染された衣類を再使用する前に洗濯する事。
目に入った場合	: 直ちに流水で最低15分間は洗浄し、炎症や刺激感が残るようであれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 万が一飲み込んだ場合は、口をよくすすぎ、無理に吐かせない事。可能ならば多量の水を飲ませ、直ちに医師の診断を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	高濃度のばく露では、目、鼻、のどに刺激を引き起こす。乾燥ゲルを多量に吸引した場合は、直ちに新鮮な場所に移し安静にする。ゾルを飲み込んだ場合は、口をよくすすぎ、無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受ける。

5 [火災時の措置]	
消火方法	: 無機物であり、燃焼しない。

6 [漏出時の措置]	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。かぶれた場所は滑りやすいので注意する。漏出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。漏出した製品はウエスや土砂などに混ぜて吸着させて空容器に回収し、そのあとを大量の水を用いて洗い流す。
------------	---

7 [取り扱い及び保管上の注意]	
取り扱い	: 眼、皮膚への接触を避け、取扱後の手洗い励行。 ミストや飛沫が飛散する場合があるので保護眼鏡を着用する。 皮膚への付着を防ぐため、皮膚の露出部は最小限にする。 誤飲しない。誤飲した場合は、医師の指示に従う。
保管	: 室温を維持できる場所で、冷暗所に貯蔵し、密栓状態で保管する。

8 [暴露防止措置]	
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: アルミナとして該当しないが、各種粉じんとして日本産業衛生学会の許容濃度勧告値は以下のとおり。
日本産業衛生学会許容濃度勧告値(2007年度版) : 第1種粉塵 0.5mg/m ³ (吸入性粉塵); 2mg/m ³ (総粉塵)	
設備対策	: 設定されていない 粉塵に曝露される可能性のある場合は発散源密閉装置や局所排気設備などの排気設備を使用する。
保護具	呼吸器用の保護具 : 防じんマスク(国家検定品) 手の保護具 : ゴム製など 目の保護具 : 保護眼鏡 皮膚及び身体の保護 : 長袖、ゴム製長靴

9 [物理/化学的性質]

外観等	: 白色の懸濁液
沸点	: 初留点及び沸点範囲 100℃以上
融点	: データ無し
凝固点	: 0℃
蒸気圧	: 該当しない
比重	: 1.2-1.5 (25℃)
PH	: 3-6
溶解度 水	: 水に任意に溶解する。(アルミナ成分は溶解せず、懸濁状態)

10 [危険性情報(安定性・反応性)]

安定性・反応性	: 加熱・冷却、他の薬剤との混合により分離、沈殿することがある。
危険有害反応可能性	: 酸性溶液のため、アルカリと反応する。
避けるべき条件	: 凍結する程の冷却状態及び人為的加熱は避ける。 酸性溶液のため、プラスチック容器の使用が好ましい。
混濁危険物質	: アルカリ性物質。
危険有害な分解生成物	: 知見無し。

11 [有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)]

刺激性(皮膚、眼)	: 弱酸性を示し皮膚や粘膜に弱い刺激作用がある。 弱酸性を示し、眼の粘膜を腐食する。
急性毒性(50%致死量等を含む)	: 経口摂取、静脈内、腹腔内および期間内投与により中程度の毒性を示す。 結晶の物よりはるかに毒性が低い。 ・経口 ラット LD50 >5,000mg/kg (IUCLID(2000)) ・経口 ラット LDLo 知見無し ・吸入 ラット LOLo 知見無し 注) LD50(50% Lethal Dose)検体を試験動物に投与したとき、死亡率が50%である、動物の体重1kgあたりの投与量。
呼吸器監査製・皮膚監査性	: 知見無し
慢性毒性	
がん原性	: 本品の乾燥物はアルミナ粉末である。GHS判定:区分外 ACGIH(2006)でA4に分類されている。
変異原性(微生物、染色体異常)	: 知見無し
生殖毒性	: 知見無し
催奇形性	: 知見無し
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	: なし

12 [環境影響情報]

分解性	: 知見無し
蓄積性	: 知見無し
魚毒性	: 知見無し

13 [廃棄上の注意]

アルカリで中和し、専門の業者に委託する。
特別管理産業廃棄物: 該当しない。

14 [輸送上の注意]

	: 運搬に際しては容器に漏れがないことを確認し、転倒、落下、衝撃など 損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国際規制	: 該当無し
国内規制	: 該当無し
国連分類	: 該当無し
応急処置指針番号	: 該当無し
特別の安全対策	: 消防法の規定に従う。

15 [適用法令]

労働安全衛生法: 法第57条の2 第1項 施行令第18条の2 通知対象物
別表9 法令番号312 アルミナ
化学物質管理促進法: 非該当
毒部及び劇物取締法: 非該当
海洋汚染防止法 : 該当しない
船舶安全法 : 非危険物
航空法 : 非危険物
港則法 : 非危険物

16 [その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)]

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常取り扱いを対象とした情報提供であり必ずしも安全性を保证するものではありませんので、特殊な取り扱いの場合には当方へご相談下さい。